

☆ご採用事例 023☆

特別養護老人ホーム 和楽ホーム様

〒198-0002 東京都青梅市富岡1丁目318番地
<http://www.hakujin-kai.or.jp/>

和楽ホームは、常時介護を必要とし、ご自宅で介護を受けることが困難な方にご利用いただく施設として、昭和49年9月に開設されました。職員全員が思いやりの心を大切に、ご入居される方々に輝ける夕映えのある人生をお過ごしいただくため、「その人らしい生活をご自分の意思で送ることができるような施設づくり」を心がけておられます。居室は、ご入居される方々にとってふさわしい暮らしができるよう、従来型居室(4人部屋)とユニット型居室(個室)があります。

■ご採用台数 3台(1階から3階の各汚物処理室にて使用)

<ご採用のきっかけ>

- ・今年の6月、電化製品の修理を依頼された業者様より、修理が終了した時にカタログで脱臭機「デオダッシュ」の紹介させていただき、一週間程度のテスト使用をお願いいたしました。
- ・汚物処理室でテストしていただいたところ30分もしないうちに臭いが無くなったとの報告があり、その後、デオダッシュのご購入の決定をいただきました。

<臭いの現状>

- ・120名のご入居者の内、排泄介助を必要としている方が約100名おられ、各部屋でオムツ交換をすると、どうしても臭いがこもりがちになることから、便意を訴えた時には極力トイレに誘導するように徹底しているとのこと。
- ・引き揚げたオムツ、汚れた衣類などは仮洗い機で洗い、汚物処理室に一時的に保管していますが、ドアの開閉などを通じ、どうしても廊下にも臭いが出て困ることがあるとのこと。

<臭いの対策>

- ・各部屋では設置の換気扇を運転したり、その都度の窓明け換気、消臭剤や芳香剤をご使用していました。
- ・汚物処理室では常に換気扇を運転し、回収してきたオムツを容器に密閉するなどの配慮をするとともに清掃を徹底しておられますが、空気清浄機やオゾン脱臭機は特に設置してはなかったとのこと。

施設内のより快適な環境を提供できました！【宮澤施設長様】

- ・施設では、どうしても排泄にかかる臭気が発生しやすく、常時の換気、清掃の徹底で対応しておりました。
- ・しかし、今後のことを考えると臭いの問題の解決は重要であり、デオダッシュ採用は好タイミングでした。
- ・今では入居者・ご来客者の皆様に、快適な環境を提供できて良かったです。

デオダッシュを設置して本当に良かったです！【種五チーフ様】

- ・施設長から、脱臭機のテストをするよう指示を受け、汚物処理室で運転してから30分後にドアを開け、臭いの確認をしてみると、臭いが消えていることに気がつきました。その後何人かの職員からも脱臭効果の報告がありました。
- ・結果として設置して本当に良かったです。



▲1階から3階の各汚物処理室にデオダッシュを設置したところ、臭いも気にならなくなり大好評。



▲「喫茶ボンディア」は入居者の方の暮らしを豊かに広げ、地域の方々との交流を深める目的の喫茶店です。



▲敷地内にある博仁会公園の遊歩道です。天気の良い日は皆さんと外に出て気分リフレッシュ。